

CASE 3

底なし沼

[オモテ]

なぜ、こんなことになったのか。

気づいたときには、腰から下は、沼の中だった。

手の届く場所にある草木をつかんでも、

俺の体重を支えることはできず、

ブチブチと根元から抜けるだけ。

もがくほどに、泥が体を包み込んでゆく。

ショベルカーでもない限り、

この窮地から逃れるすべはないだろう。

俺は、どうやら助かりそうにないようだ。

とうとう、泥は肩の高さにまで達した。